

新たな防衛大綱と中期防で先島の首長に対する沖縄防衛局の説明をめぐり、八重山毎日新聞社に対する中山義隆石垣市長の発言が二転三転した。

本紙の電話取材に中山市長は当初、「会っていないし、聞いていない」と答えた。

対しては職員が1月6日に説明したこと分かった。これが受け中山市長に再度確認したところ、政務出張先の那覇市内で説明を受けた。

結果、中山市長にけたことを認め、さ

なぜか? 発言が二転三転

防衛局の説明めぐり中山市長

石垣島への自衛隊配備

自衛隊の先島配備については外閣守吉与那国町長が明確に説明方針を打ち出し、その説明をめぐり、八重山毎日新聞社に対する中山義隆石垣市長の発言が二転三転した。

中山市長は当初、「会っていないし、聞いていない」と答えた。

対しては職員が1月6日に説明したこと分かった。これが受け中山市長に再度確認したところ、政務出張先の那覇市内で説明を受けた。

一方、この件について市の担当職員は「聞いていない」と

回答したのは大浜哲夫、池城孝、宮良操、

伊良皆高信、砥板芳行、仲間均、箕底用洋、知念憲氏の野党に加え与党の大石行英、平良秀之、石垣涼子、内野篤氏の計12人。

「賛成」は与党の伊良皆高信、砥板芳行、仲間均、箕底用洋、知念憲氏の野党に加え与党の大石行英、平良秀之、石垣涼子、内野篤氏の計12人。

与党5人は「正式な内容をみて判断する」などとして態度表明を留保した。

今後、石垣島での防衛局の説明が具体的にならかにしていない。

一方、この件につき市民の意見を聞きながら総合的に判断したい」と柔軟な姿勢

を示す。このほか砂川利勝、上門孝子、石垣亨、仲嶺忠盛氏の5人。このほかが最大の焦点となる。

お茶会は桃の節句を前に、おおはま幼稚園(吉濱剛園長・園児44人)は23日前、同

園遊戯室でひなまつりお茶会を開いた。

お茶会は桃の節句を祝い、日本文化の茶道に触れ、興味を持つてもらうことなどが目的。

園児らが手作りのひな祭りのうたを歌い、

元教諭の亀川宗静(亀川静枝)師範が講師を務め、お手前(お茶運び)を指導。

ロッテキャンプきようまで。再び日本一難といわずに対応を行こう。

なぜ堂々と説明受けぬ。不穏な行動は市民の不信を買うだけ

○ロッテキャンプきよ

○防衛廳、陸自の先島配備に本腰。住民に賛否。追従はやめよ

○4月の包丁を携帯していた疑い。

○お茶会は桃の節句を前に、おおはま幼稚園(吉濱剛園長・園児44人)は23日前、同

○園児らが手作りのひな祭りのうたを歌い、

○元教諭の亀川宗静(亀川静枝)師範が講師を務め、お手前(お茶運

○ひな祭りのうたを歌い、

</